

こんしゅう ふくいんし  
今週のことば「マタイによる福音書」

せいし ふくいんし  
《聖書》マタイによる福音書 2:1-12

ふくいんし きげんご ねん  
マタイによる福音書は紀元後70年の  
かんらく いご か かんが  
エルサレム陥落以後に書かれたと考えら  
れていました。この福音書も、神の子イエ  
ス・キリストへの信仰を、地上のイエス  
しょうがい むす  
の生涯に結びつけようとするマルコによ  
る福音書の意図を受けついでいます。

ふくいんし きしや もち しりょう  
しかし、この福音書記者が用いた資料  
は、マルコによる福音書だけではなく、  
ふくいんし つか しりょう  
ルカによる福音書も使っていますQ資料  
ことば あつ  
というイエスの言葉を集めたものと、さ  
らにマタイによる福音書だけの特殊な資  
りょう  
料によっています。

ふくいんし とくちゅう  
この福音書の特徴は、イエスこそユダ  
じん たいぼう えが  
ヤ人が待望していたメシアであると描い  
ています。イエスにおいて、旧約の  
こと きゅうやく  
預言者が言った事が実現したという主張  
く かえ で  
が繰り返し出てきます。

じん しどうしや  
このメシアはユダヤ人の指導者たちによ  
って拒否れ、ユダヤ人のみならず、異  
ほうじん ふくいん つた  
邦人にも福音が伝えられるようになりま  
す。つまり、新しい神の民である教会に  
あたら かん たみ きょうかい  
は、ユダヤ人も異邦人も共に含まれてい

い ほうじん せんきょう  
ます。そして、異邦人への宣教がイエス  
いし もと こと しめ  
の意志に基づいている事が示されていま  
す。この事から、この福音書は、ヘレニ  
ち いき じん シャ きょうかい  
ズム地域のユダヤ人キリスト者の教会で  
つく じん せんきょう い ほうじん  
作られ、ユダヤ人への宣教と異邦人への  
せんきょう たいりつ かいしやう い と かんが  
宣教の対立を解消する意図があったと考  
えられています。

ふくいんし て がみ  
この福音書では、パウロの手紙やマル  
コによる福音書と違って、「福音」をイ  
エス・キリストが宣教した内容として語  
っています。つまり、イエスが伝えた「  
みくに てん くに ふくいん  
御国（天の国）」が福音なのです。この  
ようにして、「福音」が現実に生きたイ  
エスの姿から、抽象的な教えに変化して  
いきました。イエスは新しい「義の教師」  
えが しやう しやう  
として描かれています（5章～7章）。  
そして、自分たちキリスト教徒こそイス  
ラエルの民の一番正当な継承者だと考え  
るようになっていきました。

ふくいんし なか ふくいんし  
また、福音書の中で、この福音書だけ  
が「教会」について述べています。この  
こと ふくいんし きょうかい でんとうてき おし  
事から、この福音書を教会の伝統的な教  
えを語るものとして重要視する人もいま  
す。

しゅ こうげん しゅじつ ねん たきの  
主の公現の主日A年（滝野）